

令和 5 年



県と市町の情報ホットライン

かがわ

vol.
119

発行●(公財)香川県市町村振興協会 監修●香川県政策部自治振興課
HP●<http://chousonkai.or.jp/shinkou/publication/>

まちづくり最前線/宇多津町

My Town

空き家問題の解決に向けて国のモデル事業に応募!

株式会社 木村海産 代表取締役社長 木村 明ひこさん

Top Message

ふるさとの海を守り、漁業を守ることが未来の食を守ること

地域の元気印/善通寺市

People

善通寺こどもエコクラブ



「善通寺こどもエコクラブ」のコロナ禍となる以前の活動風景です。同クラブは、善通寺市にある五岳山の一つ筆の山の地権者全員と自由に山に入れるよう契約し、「筆の山『絆の森』里山調査と森づくり」を行ってきました。近くに「善通寺五岳の里 市民集いの丘公園」が整備され、公園をメインフィールドとして活動を広げています。



宇多津町



公の信頼と民の知恵を生かして 空き家問題の解決に向けて 国のモデル事業に応募！

いずれの市町でも空き家対策は頭の痛い問題です。一軒の廃屋から町の衰退が始まること
もあります。そこで宇多津町では、住民から信頼の厚い行政とノウハウを持った民間のエキス
パートが手を組み、空き家問題に立ち向かっています。実現可能な対策を共に考えてみま
せんか。



左から、一般社団法人空き家コミュニティ 理事 三好美鈴さん、
同社 代表理事 安部加寿美さん、この4月から配属となった
宇多津町 まちづくり課 西山誠二さん。

計画を実行するには

ご多分に漏れず空き家問題を抱える
宇多津町では、令和2年2月に「宇多津町
空家等対策計画」を策定しました。ところ
が、計画を実行するためには、町単独では
知識も人手も不足しており十分な対応が
行えません。「相談を受けても専門知識
がなければ即答することが無理な問題
ばかり。正直に言えば、とても難しい話と
思えました」と、当初の状況を語るのは、
空き家問題の窓口である宇多津町 まち
づくり課の西山誠二さん。

そこで、建築士、宅建士といった各分野
において専門的な知識を持ち、すでに高松
市などでも活動を行ってきた実績がある
「一般社団法人空き家コミュニティ」との
協力体制を取ることになりました。そして、

宇多津町は計画を現実的なものとする
ため、また専門家はこれまでのノウハウを
形にするため、国土交通省のモデル事業に
応募することにしたのです。

プロの知識に行政の信頼

空き家コミュニティは、単なるグループと
して活動していました。令和2年12月、一般
社団法人を立ち上げて、空き家の相談会
などを地道に開催してきました。「空き家
の問題は個人の財産の問題。信頼がなけれ
ば相談してはくれません。行政の方が前に
立つてくださると大きな信頼を得ることが
できます」と語る代表理事の安部加寿美
さんは建築士の資格を持ち、理事の三好
美鈴さんは宅地建物取引士の資格を有し
ています。行政の門を開くのは難しいと

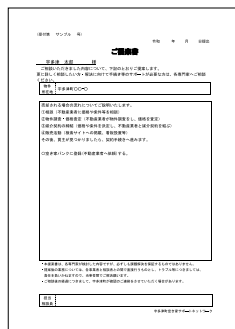
感じていたお二人ですが、宇多津町の担当
者は身を乗り出して話を聞いてくれた
そうです。

双方が協力することで、令和3年度、
4年度とモデル事業に採択され、これまで
できなかったことを実現してきました。その
一つは月に一度は定期的に開催される
無料相談会。宇多津町は「空き家コミュニ
ティ」のほかに、「香川県宅地建物取引業
協会 坂出支部」、「香川県司法書士会」と
空き家等対策の推進にかかる協定を結ん
でいます。専門家の協力を得て「宇多津町
空き家サポートネットワーク」として相談
会に臨みます。会場には、建築士、宅地建物
取引士に加え、司法書士が同席している
ので実に頼もしい相談会です。もちろん、
別日に個別の相談に応じたり、直接窓口や
電話でも相談を受けたりしますが、定期



ほぼ毎月開催される「空き家の無料相談会」。令和3年度、4年度で30件近くの相談がありました。

町と一般社団法人空き家コミュニティがモデル事業を受けて作成した「住まいの未来を考えるノート」。空き家にならないために、また空き家の活用方法についての記入式ガイドブック。



相談会に来られた方にお渡しする提案書。紙ベースにすることで家族とも情報共有ができ、次の一歩につながります。

空き家サポートネットワーク

相談窓口

宇多津町 まちづくり課
一般社団法人空き家コミュニティ

連携
協力

専門家・協力事業者

建築士
宅地建物取引士
司法書士 等

●一般社団法人空き家コミュニティは、「香川県空き家利活用サポートチーム」に登録されている団体です。

行政が窓口となることで、多くの人々が安心して相談に訪れます。建築士などのプロ集団である一般社団法人空き家コミュニティが解決に向けてお話を伺い、具体的な提案書を策定します。双方のネットワークで空き家問題を解決に導きます。

的な開催ならば参加者の幅が広がります。「大切なのは窓口を設けることです。宇多津町では空き家に関する相談窓口としてまちづくり課が総合的な窓口を担っています」と安部さん。「ネットの偏った情報で、どうしようもないと対策をあきらめたり、反対に好条件ばかりを目にして、それが無理と分かってやる気を失ったり。正しい知識を届けてあげることが一番だと思っています」と三好さん。

できることから一歩一歩

ところが、「町の広報とHPだけでは知識を必要とする人に届かない現実があります。これをどう踏み込んでいくのか頭の痛い問題です」と次の課題に悩む西山さん。そこで、税務課と連絡し合い、固定資産税の納税通知書に相談会の案内を同封したり、相続時の情報連携などを密に行うことにしました。また、老朽危険空き家に関しては地域整備課と共に取り組むという庁内体制を整えました。

さらに、町内全戸を対象に、「住まいの未来を考えるノート」を配布しました。これは、将来にわたり空き家で困らないための、いわば住宅版エンディングノート。家について考えておくべきこと、伝えるべきことを、簡単にチェックしたり、書き込んだりできる

ノートです。

また、相談会に来てくださった方には、その後の行動につながるように、提案書をお渡しし、紙ベースで確認できるようにしました。相談者にはその後も町の担当者から月に1回、3カ月にわたってお電話でお声がけをし、追跡調査が行えるようになっています。ほかにも介護と相続や家財整理など空き家と密接に関係するテーマで町民向けの無料セミナーも開催しました。

空き家マッチングシステム

令和4年度のモデル事業としては、「活かせる空き家のマッチングシステム」をスタート。これは、まちづくり課がハブとなつて、空き家を売ったり貸したりしたい所有者と、空き家を活用したい利用者を結びつけるシステムで、空き家サポートネットワークのメンバーがシステムへの登録に向けて動きます。所有者、利用者、どちらからでもアクセスでき、どちらも笑顔になるようにプロが知恵を絞ってくれます。これで、より空き家対策が現実的なものとなりました。

実は、空き家の所有者は空き家だと認識していないというケースが多くあるとか。「所有者さんは、『いずれ使うから』というお考えがあり、空き家と考えていない方もいらつしやいます。管理がされていない家は

痛みが早く、後々に活用したくても難しくなることがあります。そのために法的な定義ではありませんが、1年を目安として管理がされていない家は空き家であるとの考えを広げたい。そうすることで当事者意識を持ってもらい、空き家ゼロを目指したい。そのために、他市町の事例も参考に専門家の知見に耳を傾け一歩一歩進めていきたい」と西山さん。

「空き家問題は所有者だけでなく町全体の今後に関わること。いわば住民全員が当事者のはず。人口の多少に関わらず、空き家を生かして元気な町と空き家を放置して暗くなつていく町があることを分かってほしい」と口をそろえる安部さんと三好さん。今年度もモデル事業に応募し、放置空き家ゼロを目指す力強く語ってくれました。

観光面でも移住促進の面でも、住民の安全を守るためにも、有効活用を考えたい空き家対策。国のモデル事業活用で生まれたシステムは、多くの自治体で活用できることでしょう。



空き家所有者と利用希望者をつなぐ「活かせる空き家のマッチングシステム」。HPでも発信しています。



香川の先進企業の力を探る あの人に会いたい！

株式会社 木村海産

代表取締役社長

木村 明ひこさん

燃料費の高騰で運送費に苦しんでいます。大量輸送をすれば、コストを抑えることができます。そこで、行政の力で幾つかの企業を募り、荷物をまとめて大量消費地へ運ぶことはできないでしょうか。企業のみならず生産者も消費者も、喜ぶ人が大勢います。

「うどん県。それだけじゃない香川県」ですから、隠れた魅力を発掘していただきたい。例えば「釜揚げうどん」だけじゃない、「釜揚げしらす」も香川の逸品ですよ。



ちりめんじゃこ※の加工に始まり、今や世界的な企業に成長した「株式会社 木村海産」。輸入事業やペットフードなどを手掛ける株式会社 木村商事、国産原料の仕入れや販売を行う株式会社 じゃこ丸海産といったグループ会社を合わせ、今年4月に株式会社 木村ホールディングスに持ち株移転し、新たな展開を考えているとのこと。2020（令和2）年には紺綬褒章、昨年は知事表彰、今年は旭日単光章を受章された木村明ひこ代表に、これまでの歩みやふるさとへの思い、今後の展望について伺いました。

※ちりめんじゃこ…カタクチイワシ、マイワシなどの稚魚の総称。



平成21年に東かがわ市からさぬき市津田町に本社を移転。広々とした敷地があり、工場施設などの増設を続けています。



株式会社 木村海産の令和5年現在の工場は、さぬき市津田町に本社工場、東かがわ市に引田工場があります。写真は本社工場。

■ 社は、企業理念を教えてください。

HPなどでは、事業理念は「未来の食を守りたい。」と「海の恵みを食卓へ。」を掲げています。先人らが築き上げたものを守ることが、未来の食を守ることを考えています。

具体的には、「ちりめんじゃこ」や「いりこ」という昔ながらの食材を扱っておりますので、まず自然の材料を大切にしたい。それを捕る漁師さんや加工屋さんを大事にしたいというのが一番です。

■ 事業内容や商品について教えてください。

簡単に言えば「ちりめんじゃこ屋」で「いりこ屋」です。いわゆる海産物の輸入、製造、販売を手掛けています。納入先は、大まかに言えば、量販店、外食産業、食品メーカーの三つですが、ここにペットフードとしての利用も加わりました。昔は、「ちりめんじゃこ」と言えば、異物が多い、菌数が多い、塩辛いと門前払い。つまり、弊社の製品は、それらの難題をクリアし、今では小さいからこそその強みを生かして、さまざまなものに利用されているというわけです。また、クリアするだけでなく、さらに健康に良い食べ物として、売り出そうとしているところです。

そこで、特長の一つは健康を意識した「減塩」。自社はもちろんですが、有力な加工業者さんとも提携を結び、それぞれの手法で減塩を守り、また添加物は使っておりません。

例えば、「釜揚げしらす」は通常では消費期限が3日です。これでは量販店が扱いにくく、少なめ少なめで仕入れるとすぐに欠品になるといった状況でした。そこで、弊社では「低温加圧加熱殺菌処理」という風味を損なわず加熱殺菌処理を行う方法を何十年も前から行っています。これは弊社の特許です。また、産地表示には仕入れ先さんも含めグループ全体で厳密にルールを守っています。



独自の衛生基準を設け、厳しい管理下で安心自慢の商品を生み出しています。

■ 各工場（津田・引田・バリ）の変遷について教えてください。

出発点は現在のさぬき市津田町で親戚の人たちと一緒に行っていました

が、1962（昭和37）年に現在の東かがわ市引田で創業開始となり、やがて私が跡を継ぎました。引田の工場が手狭になり、物流を考えると、引田よりも良いと思う土地もありましたし、ぜひとも来てくれと、さまざまな魅力的な条件を提案いただいた市町もありました。しかし、最後に決めたのは、やはりふるさとの津田町でした。地元の人々の温かさにもふれ、帰ろうと決心し、2009（平成21）年に本社工場を移転しました。なお、引田工場は現在ペットフードの製造を行っています。

インドネシアの原料開拓は、国産原料の減少に合わせ、海外に目を向けざる得なくなったのがきっかけです。輸入を担当する木村商事を立ち上げ、1997（平成9）年にジャカルタに現地拠点も設けました。バリ島に工場を造ったのは、バリ島が好きだからというのが大きな理由ですが、関空が開港して、バリ島の直行便が飛ぶようになって、これは便利だと、2003（平成15）年バリ工場を開設しました。

ここは、インドネシア周辺の情報拠点の役目を担い、何より異物処理に力を発揮してくれました。「ちりめんじゃこ」は、ご存じのように本場に

小さく、海中から細かい目の網で大量に引き揚げられるわけですから、海の異物が全て入ってきます。その異物は、X線やAIがあるとはいえない、いまだに人の目と手でなければ確実に取り除くことはできません。一人で一日

5キロ、一匹一匹、ひっくりかえしながら、2回も調べていくのですから、気が遠くなるような話です。その細かい根気の要る作業を日本国内でしようとすれば、大変な人件費がかかります。そこで、バリ島の人々にお願したわけです。ジャカルタで水揚げしたものをバリ島に運び異物処理をしてから船積みをして日本に送ります。それを再度日本国内でも検査します。バイヤーさんからは、向こうだけで十分でしょうと何度も言われましたが、任せきるとやはり怖い。日本でもう一度チェックするというプレッシャーをかけないとダメなんです。また現地では、テーブルによってチームリーダーを決めて、全ての商品に記帳していました。ですから、異物が出たとなると責任者がすぐに分かりました。そういう厳しいチェック体制のおかげで、木村の製品には異物が極端に入っていないという信頼を得ることができました。その木村海産のバリ工場は今はありません。各地の

原料メーカーさんが、安全や衛生面で著しく進歩し、信頼関係ができましたので、お任せするようになりました。現在は、台湾、中国、タイ、韓国などいろいろな国でお世話になっております。

ベースアップに取り組んでいるとお伺いしました。

これまでは、木村海産という名前がそれほど出なくても良いと考えていました。漁師さんはじめ関係者の皆さんから信頼を得ていれば、それで良いと考えていたのですが、働いて



普段は食堂として使われているミラーボール付のホールがあり、忘年会などではパーティー会場となります。参加者は仮装をして歌うことで何かが吹っ切れ、仕事にも良い影響を与えているとか。盛り上がり様子は、写真で紹介されています。



くださる皆さんのために知名度を上げたいと考えるようになり、イベントの協賛やネーミングライツも試んでいます。しかし、何より従業員さんを大事にするなら、ベースアップです。これに物価手当もつけ、バートさんも東讃でトップの時間給にしました。社員に関しては昇給時期が決まっているので、正式な昇給は6月からですが、物価手当と時給はすでに行っています。

素晴らしい受賞歴をお持ちで、その背景には数々の寄付行為があると伺いました。

2017(平成29)年に経済産業省の地域未来牽引企業の選定を受けました。地域経済の中心的な担い手となりうる事業者ということで、地域の信頼をいただけたことはありがたいと思っています。2020(令和2)年には紺綬褒章、昨年は知事表彰をいただき、今年は旭日単光章を賜る運びとなり、身に余ることと思っています。

寄付に関しては、私を育て、また大事に迎えてくれたさぬき市津田町の皆さんに恩返しをしたいという気持ちからです。小学校の楽器の購入に充てたり、中学校のテレビの購入

に充てたり、津田の松原のために使ったりと有効的に使っていたいております。昭和の頃の津田町はサケマス船団の基地でもあり、活気にあふれていました。津田の松原も素晴らしい景勝地で、海水浴をはじめ大勢の人が訪れていましたが、その津田町が今は過疎の認定を受けたということで、少しでも活気を取り戻せるようにと尽力しています。



同じく平成29年に選定された経済産業省の地域未来牽引企業の選定証。



本社玄関にホール置かれた令和2年受章の紺綬褒章の賞状。令和5年はここに旭日単光章が加わります。

新たに企画している商品や事業など、今後の展開をお聞かせください。

世の中では魚離れと言われていますが、「ちりめんじゃこ」の消費は伸びています。小さいから、手軽で

食べやすく、今の暮らしになじんだ食品と言えます。そんな中で、大手量販店さんの限界も感じています。安くたくさん売りたいだけでは、商品の良さを伝えきれません。「ちりめんじゃこ」や「いりこ」は体にいいですよ。特にいりこは、同量ならカルシウムが牛乳の20倍もあると言われていますが、売場では小さいポップに書くのがせいぜいで、なかなか消費者の方に良さが伝わりません。

そこで、インターネットを使って、健康食品としての「ちりめんじゃこ」や「いりこ」を広めたいと決心しました。できたてのものは本当においしいですよ。「じゃこ丸海産」では、インターネットを活用しライブ感を演出してお見せすることにしました。漁師さんが捕ってきたばかりの「釜揚げしらす」や、天日干ししたしらすのおいしさを、ライブでお見せして、「明日届けます」「3日後に届きます」というような販売をしたいと制作中です。SNSで随時発信しておりますので、「じゃこ丸劇場」をぜひ見ていただきたい。

また、さぬき市には宿泊施設が

少なくて市の魅力をいまひとつ発信できないと聞きましたので、最高のロケーションである津田町の海岸にブル付一戸建ての宿泊施設ヴィラを建設中です。この夏にはオープン予定ですので、ぜひ県内の皆さんもご利用ください。

香川県や市町の行政に感じていることをお聞かせください。

燃料費の高騰もあり、地方は皆さん輸送費に苦しんでいます。どうしても、地元消費だけでは立ち行かず、大口消費地に物を運ばなければ企業は成り立ちません。海外からの輸入を考えると、4トンや10トン単位で運ぶと輸送費をぐっと抑えることができます。そこで、県の方々にお願いします。農産物でも水産物でも幾つかの企業を募り、共に荷物を東京などへ運ぶことはできないでしょうか。前向きに検討いただきたいと思います。

自治体職員に向けて、アドバイスををお願いします。

香川県は「うどんだけじゃない県、香川県」を宣言していますが、うどんだけじゃなく、すでにあるのに

見えていない魅力の発掘に力を注いでほしい。例えば、釜揚げうどんだけじゃなく、これからは「釜揚げしらす」も注目していただきたい。揚げたてしらすにいりこだし、香川産の卵を添えて、こでしか味わえない最高の逸品ができあがります。

このように現場に一步踏み込めば、見えてなかった問題や魅力もまだまだ発見できると思いますので、よろしく願いいたします。



木村 明ひこ (きむら・あきひこ)

香川県出身(さぬき市在住)
昭和25年7月26日生まれ 72歳

昭和59年 5月 有限会社 木村海産 代表取締役社長就任
平成 2年 7月 株式会社 木村海産 代表取締役社長就任
平成 5年 6月 株式会社 木村商事 代表取締役社長就任
令和 2年 8月 紺綬褒章受章
令和 3年 1月 株式会社 じゃこ丸海産 代表取締役社長就任
令和 4年 5月 知事表彰受章
令和 5年 4月 株式会社 木村ホールディングス 代表取締役社長就任
令和 5年 5月 旭日単光章受章
現在に至る。

本社所在地 香川県さぬき市津田町鶴羽778番地33



商品を買って求めるお客さまだけでなく、社員、地域も笑顔になる会社を目指しています。

PROFILE



交流推進部 県産品振興課
主事 早馬 実鈴

20年続く県産品のイベント 「かがわ県産品コンクール」が 今年度も開催されます!

「かがわ県産品コンクール」について

平成15年度からスタートした、「かがわ県産品コンクール」は、魅力あふれる県産品の開発促進と、まだ世に知られていない商品の掘り起こし、県内外の販路拡大支援を目的として、今年で開催21回目を迎えます。

「食品部門」「菓子・スイーツ部門」「一般部門(非食品)」「オーリーブ部門」の4部門で構成されており、近年では100を超える応募商品の中から、知事賞(最優秀賞)、優秀賞がそれぞれ4商品選ばれます。

「うどん県」の「それだけじゃない」



コンクール一次審査会の様子

や流通バイヤーなどの専門家からなる審査委員の方々をも唸らせる、未発掘かつ魅力的な商品が毎年出品されています。

受賞商品のその後

厳しい審査を突破し、見事知事賞、優秀賞を受賞した商品は、かがわ県産品コンクール受賞のロゴマークを商品パッケージに表示できるほか、広報誌やテレビ番組での紹介、栗林公園内の「かがわ物産館 栗林庵」、東京のアンテナショップ「香川・愛媛 せとうち旬彩館」での販売イベントの開催を通じて、広くPRできるとともに、販路拡大の支援も受けることができます。

令和4年度「食品部門」で知事賞を受賞した株式会社おがた食研

の「薫る 骨付鳥」は、コンクール終了後、優良ふるさと食品中央コンクール(食品産業センター主催)において、農林水産大臣賞を受賞し、全国的にも注目を集める商品となりました。

担当としてできること

「かがわ県産品コンクール」にご応募いただいた商品は、いずれも大きな可能性を秘めています。受賞された商品はもちろん、受賞に至らなかった商品も含めて、事業者と連携協力して県内外へ広めていくことが大切であると考えます。事業者様には、ご応募いただくメリットを感じていただけるよう、担当として精いっぱい尽力してまいります。

未来のヒット商品を生む「かがわ県産品コンクール」へ、ぜひご応募お待ちしております。



詳しくはこちら!
県産品ポータルサイト
「LOVEさぬきさん」

脱炭素化推進事業債について

GX実現に向けた基本方針（令和4年12月22日GX実行会議決定）において、地域脱炭素の基盤となる重点対策を率先して実施することとされるなど、GXの推進において地方団体の役割が拡大しています。このような背景から、地方団体における公共施設等の脱炭素化の取組みを計画的に実施できるよう、今年度より新たに「脱炭素化推進事業債」が創設されました。これまで脱炭素化に関する事業は公共施設等適正管理推進事業債（以下「公適債」という。）の対象として扱われてきましたが、この度、対象事業を拡充し、一つの事業債として扱われることとなりました。

本稿では、脱炭素化推進事業債の概要等についてご説明します。



政策部 自治振興課
主事 高橋 花帆

脱炭素化推進事業債ではどのような事業が対象になりますか。

A 公共施設等の脱炭素化のための地方単独事業が対象になります。対象事業には大きく3つの類型（再生可能エネルギー、省エネルギー、電動車導入）があります。例えば次のような事業が対象となります。

- 再生可能エネルギー設備等の整備に関する事業
- 公共施設又は公用施設を地球温暖化対策計画に定めるZEB基準相当に適合するための改修事業等
- 公共施設又は公用施設を省エネルギー基準に適合させるための改修事業
- LED照明導入のための改修事業
- 電動車の導入等に関する事業

ただし、地球温暖化対策の推進に関する法律に規定する地方公共団体実行計画に基づいて行う事業

である必要があります。
なお、事業期間は令和7年度までとされています。

地方団体実行計画の策定や改定を令和5年度中に予定している場合、起債可能でしょうか。

A 地方公共団体実行計画を令和5年度中に策定又は改定を予定している場合には、協議等手続の時点で策定又は改定が完了していない場合でも、地方公共団体実行計画の策定又は改定に係る検討状況を記載した簡易な計画を作成することにより起債が可能です。

これまでの公適債（脱炭素化事業）との違いは何ですか。

A 対象事業が拡充された点です。具体的には次のとおりです。

事業債では太陽光発電に係る「新築・改築」も起債対象になるとともに、「太陽光発電以外」の再生可能エネルギー全般が対象となりました。

【省エネ】

公適債では公共施設等のZEB化について、改修事業のみが対象でしたが、脱炭素化推進事業債では「新築・改築」も起債対象となりました。

【電動車】

公適債では電動車に関する事業は起債対象外となっていました。脱炭素化推進事業債では、公用車における電動車の導入を新たに起債対象事業として設定しています。

【再生エネ】
公適債では太陽光発電の改修事業のみが対象でしたが、脱炭素化推進

このように、従来の公適債から対象事業を拡充することで、地方団体での脱炭素化を後押ししています。地域の脱炭素化事業に幅広く活用できる地方債ですので、是非積極的に御活用ください。

三重県 亀山市



亀山市建設部都市整備課
藤尾 春樹さん



整備後の亀山駅周辺

亀山駅周辺の再生による 都市力の向上を目指して

1 亀山市の概要

亀山市は、三重県の北中部に位置し、北西部の鈴鹿の山々から東方面にかけては、傾斜面の丘陵地台地が形成され、伊勢平野へと続いており、地域の半分を山林が占めるなど、緑と温暖な気候に恵まれています。また、本市の歴史は古く、都と東国を結ぶ交通の要衝における関所がもうけられたとともに、東海道の宿場町としてにぎわいました。その後、明治時代には鉄道が開通し、また国道1号や高速道路網が整備されるなど交通結節点として多くの人や物が行き交うとともに、多くの企業が立地する内陸工業都市として発展してきました。

2 亀山駅周辺再生への取り組み

本市の玄関口である亀山駅は、明治23年の開業以来、J・R関西本線とJ・R紀勢本線の接続駅として多くの市民に利用されてきました。しかし、その後の国鉄分割民営化などによる鉄道職員の減少や、モータリゼーションの進展による鉄道利用



老朽化した亀山駅前

者の減少等により、駅周辺の商業機能の低下や建物の老朽化が進み、市の玄関口としての機能が低下しました。



三重県亀山市

●面積 / 191.04km²
●人口 / 49,324人
(R5年5月1日現在)

●HPアドレス
<https://www.city.kameyama.mie.jp/>

DATA

そこで、このような状況を改善し、にぎわいのある市の玄関口の機能を向上させるため、平成18年度に商業者や地域住民を中心に設立された「亀山駅周辺まちづくり研究会」において駅周辺の再生を目指した検討が進められたことで、再生に向けた機運が高まり、平成23年度には、市長に対しまちづくり提案が提出されました。



亀山駅周辺まちづくり研究会からの提案

この提案を受け、市では、平成26年度に「亀山駅周辺市街地総合再生基本計画」を策定し、駅周辺整備が実現に向け動き出しました。

本計画では、「にぎわいにつながる商業機能と交流機能の整備」や「駅の利便性向上につながる交通機能の拡充とターミナル機能の再生」など

6つの基本的な考え方を位置づけ、主な事業として市街地再開発事業を駅正面の2ブロック地区において進めることとしました。



市街地再開発事業の区域図

市街地再開発事業では、平成30年3月の都市計画決定後、平成31年2月に市街地再開発組合が設立され、令和2年3月には権利変換計画の認可を受け、令和4年10月に工事が完成しました。この間、組合設立後の約3年半で工事が完成するなど、権利者の協力により非常に短期間での事業実施となりました。

3 市街地再開発事業の概要

本事業は、再開発ビルと都市計画道路（駅前広場を含む）を一体的に整備したもので、施行地区約1.2ヘクタール、

総事業費を約82億円とし、事業の中心となる再開発ビルは、地上15階（56戸）の住宅棟と、商業及び公益施設が入る施設棟、地下には公益施設用駐車場を設置しております。このうち公益施設については、既存の市立図書館を移転整備することとし、市が参加組合員として保留床を取得することで事業に参画しました。今回整備した市立図書館は、既存の図書館の約3倍の床面積を確保し、多機能型の図書館として整備したものであり、中高生を中心に開館後46日間で5万人が利用されるなど、にぎわいの核となっています。



再開発ビルの外観

次に駅前広場は、現在の駅前広場を一部拡張し、公共交通の乗降場や一般送迎車用乗降場を再配置するとともに、情報案内板の設置等により利便性の向上が図られています。さらに、都市計画道路亀山駅前線は、道路拡幅による片側一車線の双方方向通行への変更や老朽化した橋梁の架け替えにより、交通機能の拡充が図られました。

4 おわりに

亀山駅周辺の再生は、これまで幾度となく検討が行われてきましたが実現に至らず、地域住民の高齢化が進む中、今回が最後のチャンスという思いで地域の皆さまにご尽力いただき、市街地再開発事業の施行につなげていただいたものです。

この取組みに対し、市としても本市の都市力の向上に必要な事業として、積極的な支援を行うなど、取組みを強化してきました。

今後も本事業による整備効果を周辺地域に広げるとともに、商業施設へのテナントの誘致を進め、持続可能なまちづくりを実現してまいります。

香川のまち歩き

香 川県の中央に位置する綾川町。最近、人気ゲームのキャラクターとコラボした「ひだまり公園 あやがわ」がオープンし、道の駅滝宮や大型ショッピングセンターと共ににぎわいを見せています。その反面、旧綾上町ゾーンには四季折々に懐かしい風景が広がります。今回はそんな綾上地区の高鉢山にある神秘的「風穴」を目指します。



推尾八幡神社から 真夏もヒンヤリの「風穴」へ 綾川町



金盛さんはドローンで西分の絶景を撮影し、地元の人々と上映会などを開催してきました。



※高鉢山キャンプ場は、老朽化のため封鎖中。

ことடன்琴平線陶駅^{すえ}から、県道17号府中造田線を車で南に約10分（町営バスなら西分バス停まで約24分）、綾川を渡り、西分公民館を過ぎると、大きなカーブの手前に推尾八幡神社があります。ここが今回のスタート地点。ガイドは、綾川町の地域おこし協力隊となつて4年目の金盛友彦さん。



国際協力機構（JICA）のボランティアとしてガボンやジンバブエで柔道の講師を務めた後、2020年4月から地域おこし協力隊員として西分地区の魅力を発信する金盛友彦さん。地元の人々と風穴を整備し、「風穴ノート」を置きました。

金盛さんのガイドによると、神社の横には古くから高鉢山へ登る登山道があり、昔は子どもたちの通学路でしたが、今では草むした道となり、林道などとして使われています。



町営バスの西分バス停前にある推尾八幡神社。ご祭神は応神天皇。社叢の森は、県指定自然記念物。



移住者と地元の人々との交流拠点としたいと金盛さんが2022年から整備を進めてきた十川邸。
5LDKあり、夏なら気軽に滞在ができそうな部屋もあります。



十川邸近くの高台からは、高松方面の眺望が開けています。晴れた日には屋島や五剣山もくっきりと見えます。



綾上富士の姿が美しく見える大相の地。棚田と高鉢山のベストショットを撮りましょう。

椎尾山に遷座（せんざ）したということですから、1163年も前からこの地を見守ってきた氏神様です。神社のお祭の際には、奴（やつこ）と獅子舞が行われ、7月の上旬には念仏踊りが行われています。

目指す高鉢山は、標高512メートル。讃岐の地によく見られる円すい形の美しい山容で、「綾上富士」とも呼ばれ讃岐七富士の一つに数えられています。府中造田線を琴南方面に向かうと、高鉢山キャンプ場入り口の看板がありますので、ここを山に向かつて右折します。ちなみに、高鉢山キャンプ場は現在、建物の老朽化などにより封鎖されています。けれど、「風穴」という珍しいスポットがあるので、訪れる人が後を絶ちません。

キャンプ場入り口看板からは、車で約5分、椎尾八幡神社の登山口からは徒歩で30分ほど歩くと、手入れが行き届いた段々畑と集落が見えてきます。西分地区の大相（おおそう）の集落です。この集落の高台に、金盛さんが地域の人々との交流拠点とする「十川邸」があります。

この家には、これまでも移住者などが移り住みましたが、再び空き家となつてから金盛さんがセカンドハウスとして再利用。金盛さんは大相の自治会に参加し、地域の皆さんと、ここを拠点に交流を深めています。移住のお試し期間にも、週末のセカンドハウスにも、ワーケーションにも使えるようにと現在はシェアハウスとして計画。興味がある方は、綾川町のいいまち推進室までご連絡を。家の裏手には水路が流れ、涼やかな水音が響きます。眺望の良い南の窓からは水田をわたる心地よい風が吹いてきます。都会の喧騒を逃れて過ごすには最適のシェアハウスです。

「十川邸」でひと休みして、徒歩なら約30分、車なら

6分ほどで「風穴」の下に到着です。昭和46（1971）年までは航空灯台が立ち、地域のランドマークとなり安全を守っていた高鉢山。中腹の370メートル地点に全国的にも有名な「風穴」があります。石の間からは山を通ってきた夏でもなお冷たい風が吹き出し、10度前後に保たれています。冷蔵庫がない時代には、蚕種（さんしゅ）と呼ばれる蚕の卵をはじめ、ウド、ミカン、マメ、ゲラジオラスなどの種子の保存に利用されてきたそうです。この冷風は山の東側にある「ごうろう」と呼ばれる岩肌から入った風が山の中を通って冷やされ、風穴から出てくるのだそうです。

「別天地」という言葉がピッタリの大相の地と高鉢山の「風穴」。この夏、訪ねてみませんか。

「十川邸」問い合わせ先
綾川町いいまち推進室 ☎087-876-5577



冬は暖かく、夏は冷蔵庫の中のように涼しい風穴。この日の風穴内の温度は6度でした。



風穴のしくみなどを分かりやすく説明した「高鉢山の風穴」の看板。訪れた方に風穴について理解を深めてもらおうと、風穴の整備を続けている大相地区の人々と金盛さんが設置しました。



香川の自治に新しい力 New Face

はじめまして

東かがわ市
市民課

上村 涼さん
うえむらりょう



■目指す人物像は？

的確に住民の方に説明ができ、自分から進んで学ぶことのできる職員になりたいです。

■東かがわ市のいいところは？

手袋生産やハマチ養殖といった世界にも誇れる産業があるところです。景色もいいので観光客が増えてほしいです。

土庄町
建設課

中谷 理紗子さん
なかたにりさこ



■今、熱中していることは？

自宅のベランダでミニトマトの栽培をすることです。収穫できる日を楽しみに育てています。

■土庄町をこうしたい！

土庄町にお住まいの方はもちろん、観光等で訪れる方々にとっても過ごしやすいまちづくりを行います。

多度津町
教育総務課

佐久間 雅太郎さん
さくままさたろう



■目指す人物像は？

さまざまな立場の方の目線に立てる人間でありたいです。年を重ねても知識を更新し続けたいです。

■多度津町のいいところは？

住民さんです。歴史的なまちなみ、観光の本通、瀬戸内海の島など魅力の数々を住民の皆さんと協力しながらPRしています。

三木町
住民健康課

久米 みづきさん
くめみづき



■今、熱中していることは？

韓国語を勉強することです。韓国ドラマを字幕無しで見られるように頑張っています。

■三木町のいいところは？

生活の便利さと田舎ならではのどかさをバランス良く両立していて、子育てしやすいまちだと思います。

三豊市
危機管理課

横山 璃空さん
よこやまりく



■あなたのチャームポイントは？

目が大きいで目力があるとよく言われたり、目の形や色がきれいと言われたりします。

■三豊市をこうしたい！

市民の皆さんが住み続けたいと思えるようなまち、三豊市以外の場所から住んでみたいと思えるようなまちにしていきたいです。

坂出市
都市整備課

下川 凜さん
しもかわりん



■目指す人物像は？

頼まれた仕事のみこなすのではなく、自ら行動ができる人になります。

■坂出市のいいところは？

四国と本州を結ぶ「瀬戸大橋」が通っていることです。橋の上から見る景色がとても気持ちよく最高です。

琴平町
子ども保健課

谷本 千咲貴さん
たにもとちさき



■今、熱中していることは？

音楽鑑賞です。洋楽などさまざまなジャンルの音楽を聞くことに熱中しています。

■琴平町をこうしたい！

高齢者から子どもまで、沢山のの方にこのまちに暮らして良かったと言っていたできるようにしたいです。

香川県広域
水道企業団

山野 一耀さん
やまのいちき



■あなたのチャームポイントは？

明るい笑顔です。10万ボルトを超えるパワーを秘めていると確信しています。

■企業団の仕事内容は？

県民の皆さんが毎日安心安全に水道水を利用できるように、古くなった水道管を新しいものに取り替えています。



筆の山「絆の森」を中心に里山の保全活動を行っている「善通寺こどもエコクラブ」。写真は遊びを通じて里山の自然を考える「里山で遊ぼう」。



「善通寺五岳の里 市民集いの丘公園」を中心に活動を続ける同クラブ。樹木にCO₂がどのくらい吸収されるかなど、「樹木の働き調べ活動」を行ってきました。写真は「木の音を聞こう」という活動。



善通寺市

持続可能な世界を子どもたちへ

善通寺

こどもエコクラブ

(代表 井上修さん)

SDGsは、ずいぶん聞き慣れた言葉になりましたが、「ESD」はご存じでしょうか？

ESDとは、「Education for Sustainable Development」の頭文字。日本語に訳すと「持続可能な開発のための教育」となります。持続可能な社会づくりのためには、環境教育が重要です。今の暮らしを維持し、さらに人類が前進するためには、地球資源には限りがあることを我々が考え、実行することが求められています。

空海ゆかりの五岳山のふもとに広がる「善通寺五岳の里 市民集いの丘公園」。ここを拠点とする「善通寺こどもエコクラブ」は、地域ESD活動の拠点となる組織です。同クラブの前身は、1993(平成5)年に発足した善通寺市子ども会育成連絡協議会「善通寺市子ども会リーダーズスクール」。子どもたちが主体的に運営する子ども会を目指し、善通寺市の歴史や文化、環境を考えて行動できる人材の育成を行いました。その活動の中で自然環境について考え、実行



毎年開催している「香川ESDまつり」。今年はバージョンアップして「四国ESDまつり」を開催。

重視したグループ活動に変わりはありません。興味のあるテーマごとにグループをつくり、意見交換をして具体的な調査や研究内容を決定します。現在の主な取組みは、「筆の

することの大切さに気付き、1997(平成9)年に名称を「善通寺こどもエコクラブ」に改め、環境省の「こどもエコクラブ」に登録しました。発足当時は、市内の子ども会メンバーで構成されていたので、多い年は約300名もの会員がいました。2023年4月現在のメンバーは、善通寺市内の小学生とその保護者、近隣の小中高生、地域の専門家などで構成され、子ども会員35名、サポーター5名の計40名です。発足から25年を経て、その活動は多岐にわたりますが、一貫して子どもの主体性を



樹木医でもある井上さんが制作した木に親しむための入門書「木の図鑑」。自分で調べて書き込むことができます。



代表の井上修さんは、水辺の授業も展開し、現在は環境学習の指導者養成に取り組んでいます。

山「絆の森」里山調査と森づくりをはじめ「弘田川の自然調査」「こども樹木医教室」「里山の昆虫」「ESD教室」など。4月から9月、12月から3月の月に一回、主に土曜日に実施しています。

リーダーの井上修さんは、樹木医、環境カウンセラー、自然観察指導員、エネルギー教育コーディネーターなど数多くの資格を取得。香川県環境アドバイザーでもあるので、各学校や環境イベントにひっぱりだこ。その講師料などをクラブの運営に充てているそうです。

入会条件も入会金も会費もないという「善通寺こどもエコクラブ」。門戸を大きく開き、子どもさんのみならずサポーターの皆さんを募集中です。ESDにふれ、人も地球も元気な未来を共に目指してみませんか。

DATA

善通寺こどもエコクラブ事務局
善通寺市弘田町646番地3
☎0877-62-9265

サマージャンボ

7億円

1等前後賞合わせて7億円
1等5億円、前後賞各1億円

サマージャンボ ミニ

3千万円

当さんの
チャンス
広がる!

1等前後賞合わせて3,000万円
1等2,000万円、前後賞
各500万円



PCやスマホで
ネット購入!



宝くじ公式サイト

<https://www.takarakuji-official.jp/>

この宝くじの収益金は、

市町村の明るく住みよい

まちづくりに使われます。

7月4日(火)同時発売

発売期間/7月4日(火)~8月4日(金) 抽せん日/8月18日(金)

各1枚
300円

2023年市町村振興宝くじ

公益財団法人 香川縣市町村振興協会

公益財団法人 香川縣市町村振興協会